

平成16年度 中体連春季剣道大会

気は早く 心静かに 身は軽く

目は明らかに 稽は楽しく

団体女子 中尾中連覇 男子は高松中
 男子個人 竹内 (大類)
 女子個人 井田 (中尾)
 ☆☆共に春を連覇☆☆



平成十六年四月二十九日寺尾中体育館で平成十六年度高崎市中学校春季体育大会剣道大会が開催されました。男子十六校、女子十三校の剣士達が熱戦を繰り広げました。昨年までは観戦する人たちの車で入り



口付近は大変混雑していました。今回は学校の配慮により大切な校庭への駐車が許され駐車場所を探す労が除かれました。また、これによって路上駐車など毎年起きていたトラブルもほとんどなくなつたようです。開会式前にはもう各校チームとも練習に余念がない。なんだかよく見るとずいぶんと老けた中学生？が・・・とよくよく覗いて見ると支部の先生

第8号	発行所	町内
高崎高	高崎市	石道館
高崎高	高崎市	武責任者
剣道連	高崎支部	高崎支部
広報担	上條	上條

- ### 大会結果
- 【団体戦男子】
 ① 高松中 ② 佐野中 ③ 塚沢中
 片岡中
- 【団体戦女子】
 ① 中尾中 ② 佐野中 ③ 豊岡中
 長野郷中
- 【個人戦男子】
 ① 竹内 (大類) ② 小川 (高松)
 ③ 今井 (高南) ・ 吉井 (大類)
- 【個人戦女子】
 ① 井田 (中尾) ② 柴崎 (佐野)
 ③ 矢野 (大類) ・ 庭屋 (倉賀野)

方のご面々。どうしたの？と伺いますと近日行われる昇段審査(六・七・八段)のための稽古だそう。いやこちらも全く修行に余念がありません。九時から開会式が始まりました。昨年の覇者からの優勝旗返還そして岡田大会委員長(寺尾中学校長)の挨拶。「冬の寒い間の鍛錬がこの大会に現れることを期待したい。今日の大会は「懸待一致」この言葉をテーマにみなさんに臨んでもらいたい。攻めながら守るとゆうことの意味ですが、どのようなことなのか、今日一日このことを考えて頑張つて欲しいと思います。健闘を祈ります。」橋本支部長の試合上の注意に引き続きつづいて、昨年の

久方振りに三位に入賞した片岡中は善戦です。



女子個人の覇者、井田選手(中尾中)が選手宣誓しました。いよいよ四試合場で団体戦が開始されました。男子は昨年三位の高松が勢いよく決勝に進出、また昨年の覇者佐野中も順当に決勝へ。両チーム互角の一戦と見るが、やや勢いに勝った高松中が決勝を制しました。また

た片岡中は善戦です。女子は中尾中と佐野中が決勝である。中尾中は昨年の覇者である。夏大会で高南中に首位を奪われた



ものの、秋には巻き返し波に乗っているチームである。結局四勝一敗で佐野チームに圧勝しました。三位に控えた豊岡・長野郷もよく頑張りました。個人戦男子の部は、昨年小兵ながら大兵相手に見事優勝を勝ち取った竹内(大類中)と団体戦で



める。時間も後半、両者勢い余って交錯し、体の小さい分だけ竹内選手にちよつとダメージ。しばらく試合が中断しましたがなんと竹内選手立ち直りました。競技再開の瞬間、両選手鮮やかな先の面技。小兵であるがゆえにわずかに早く竹内の打突が小川の面をとらえました。赤の審判旗が高々と三本揃いました。竹内選手昨年に続く連覇の大快挙です。



女子個人戦決勝：井田、柴崎

女子個人の部は中尾中の井田選手が佐野中の柴崎選手と対戦し、五角の推移のなか井田が一瞬の

第二試合場からの苦言

中学生もつとしつがりとしてもらわないと！

剣道の上手い下手は全く別なこととして、とにかく試合に臨んでの諸作法が全然ありません。逐一審判の指示を得ないと互いの礼が出来ない選手。一人で勝手に礼をしてしまう選手。ライン上で礼をしてしま



う選手、審判の交代中に礼をしてしまう選手、互いに九歩の間合いが測れない選手など多くおります。礼の仕方だけとっても不作法な選手が数多い。きっとこのような選手達は中学から剣道を始めた生徒なのだろうと思うが、それにしても公式の試合に出場するのだから基本の諸作法はかならず身に付けてほしいものだ。それから着装だ。面紐の結び目からの長さがざんばらなのは見るに耐えない。面てぬぐい的一端が頭のうしろからひらひらと、これも見苦しい。そしてお小手の紐のだからだもこれもまことにもってしまりが無い。ぜひ道場の鏡で自分の着装を確認してもらいたい。それぞれの学校の顧問の先生方にぜひこれらの指導の徹底をここに切にお願いしたい。 第二試合場主任審判 長井

隙に柴崎選手の出小手をとらへ一本勝ちし、これもやはり昨年に続く連覇を成し遂げました。表彰式で、橋本支部長が講評しました。「全体的に気合いがたらない。一本だけの打突が多い。連続技をもつともつと仕掛けてほしい。必ず一本決めてやるぞとゆう気持ちを持って欲しい。また面紐の長い選手が見受けられる。これはルールで長さが決められている。ルールに従ってほしい。」

なお精進され夏の大会を楽しみにしております。 さて、昼食時に支部の役員会が開催されました。議題に入る前に橋本支部長が午前中の審判模様を評し、まだまだばらつきがあるというか様々だ。来る支部主催の審判講習会に振るって皆さんや各道場の方々に参加



群馬県少年剣道錬成大会

(旧カッパピア大会) 役員 (敬称略)

- 大会 会長 中島
- 副会長 橋本 本多
- 審判長 飯塚
- 実行委員長 藤木

(主な担当事項)

- 大会総括・進行。大会役員・審判員の割り振り・イベントの計画づくり
- パンフレットの作成・郵送事務・大会委員のまとめ
- 駐車場の確保・案内誘導
- 会場設営 (試合場・机・ボード・テント等)
- 受付・接待・放送・弁当の手配
- 記録・試合組み合わせ
- イベント・商店街との連携
- 中学生の競技係の指導
- 会場警備
- 賞典
- 会計
- 後ほど委嘱する



していただき審判技術の向上と審判層の拡大について図られたい旨の要請がありました。引き続き議題は、群馬県少年剣道錬成大会 (旧称 カッパピア大会) の運営についてです。過日開催された支部総会で、高崎市もてなし広場で開催していきたい旨確認されましたが、場所が全く変わるこ

と、それに伴う財政や駐車場などの色々な開催に向けてのハードルを超えていかななくてはならぬため、特別プロジェクトチームを組むことになり、チームリーダーの角田さんから左表のとおり大会の役員振り分けと今後のチーム運営タイムテーブルについて提案がなされました。ぜひ、十一月

三日文化の日もてなし広場剣道大会成功に向けて今後のチームのスムーズな運営と支部の皆様方のご協力をお願いします。 天下の和田城跡で剣道大会が開催されるなんて、また新しい歴史が始まります。雨だけは勘弁してほしいものですね。いやいやこれは天にお任せするしかありませんが。

大会成功のためのタイムテーブル

- 5月 各担当分野の課題の整理検討・克服のための行動
- 6月 第1回実行委員会 (各担当報告・協議・課題の確認)
- 7月 第2回実行委員会 (各担当報告・協議・課題の確認)
- 8月 第3回実行委員会 (各担当報告・協議・課題の確認)
- 9月 大会案内発送・受付
- 11月3日 大会当日
- 天気予報 きっと当日は日本晴れです。

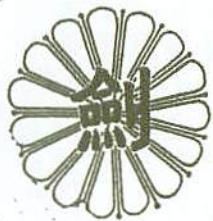


第54回

群馬県高崎十ヶ所

群馬県剣道大会

群馬武道館



高崎支部からは十三名の皆さんがエントリーしました。まずは四段の部で支部若手筆頭の

四月十一日ぐんま武道館で群馬県剣道連盟主催の第五四回群馬県剣道大会が開催されました。



先の奪い合いが火花を散らす：倉本内藤戦

上となりました。高段位の参加者は審判との掛け持ちで大忙しである。試合場は二会場となり三段位から肅々と進められました。試合時間は昇段審査の例に合わせて二分、勝敗は三本勝負となります。各選手二回の立ち会いを演ずることができ、二分です。からお互い睨み合って終わってしまう立ち会いもあるのではないのでしょうか。

全県下の腕におぼえありき百五十名の剣士の皆さんがエントリーしました。今大会からエントリー一段位が広げられ三段以

小笠原が登場した。うらやましい限りによくよく動いているようだ。続いて五段の部で岩佐、なかなか調子が良さそうで一人を制す。六段位から続々支部選手が登場。高橋健太郎快心の小手から面が飛び出る。後ほど健太郎選手”今年はあるで終



老練な面技が冴える：城田

わりです”と謙遜です。根岸も攻める。時折居付きの相手をぐさりと突き



居付く相手を諸手突き：根岸

段、蛇が睨みをきかすがごとく相手の面をうばう。そして淡島、長井の支部両雄同士の対決は長井の面にきまる。長井はのりの面により二人目も制す。淡島七段も二人目を制しました。秋野も得意の面技で一人制す。藤木七段は藤岡の中山と分け、続いて甘楽笠原と対戦しお小手を決め制しました。相川七段は沼田武藤そして勢多別府と七段の部最終戦を演じました。



睨みをきかせながらドーンと面を決める：谷

刺す。城田は老練な面技で二人を制し大活躍です。七段の部角田洩いお小手技で一人制す。なんてつたって見て爽やかな御立ち会いは・倉本・内藤戦だ。先の先の奪い合い誠に絵になるねえ。谷七



大兵の肩をなぐる：藤木

それぞれ対戦互角であった。一連の演武終了後七十才以上の部が演ぜられた。エントリーは六名である。本年は秋にねんりんピックが本県で開催される（開催地榛名町）ので、御老練士たちの活躍をぜひ期待したい。本大会終了後、改めてねんりんピック出場予定者の稽古会がこの会場で開かれたようです。最後に池田、渡辺両八段の演武が中島会長立ち会いの下で披露されました。渡辺八段が面に出ると池田八段瞬時足下右に捌き面を打つ。うーん八段の技か。



夢想神伝流 居合い：松田七段

島会長が述べられました。「剣道というものは形ができ徐々に風格ができるものだ。この風格がなければだめだ。そのようなことをいつも念頭に修行してもらいたい。そして常に間合い、これが大変大事である。間合いを盗む、相手に分からぬように盗む・・・これが攻めるとゆうことでもある。間合いは夫婦の間柄のようなものです。近すぎても遠すぎても妙にむずかしい。ぜひみなさん適度な間にある夫婦の愛を稽古に結びつけてください。」

高崎支部	おなまえ
教士七段	秋野 相川
	淡島 長井
	藤木 谷
	角田 倉本
錬士六段	城田 根岸
六段	高橋
五段	岩佐
四段	小笠原
	ごくろうさまでした。

東日本中学選抜剣道大会



中尾中男子のみなさん

も及びます。アリーナで試合中も武道館では他の待機中のチームの練習で

三月二七・二八日の二日間、群馬武道館とぐんまアリーナで、第二四回東日本中学校選抜剣道大会が開催されました。一日目は稽古会で、二日目

とこに女子チームはすでに試合終了。善戦したがわずかに及ばず一回戦敗退とのこと。男子チームも果敢に攻めるが、相手チームのほうが技と勢いがあつたようである。結局結果が出ずに一回戦敗退となつてしまいました。群馬県では富士見中男子と新田綿打中男子の二校がベスト8入りして、それが最高成績でした。でもなかなかこんな大きな大会に出場することは



押されています高橋選手

燃え上がっております。高崎市は中尾中男子女子が選抜され出場したのですが、会場は十六試合場もあり、なかなか探してもみつからないさね。ようやく捜索すること四十分。中尾中男子チームを発見。女子チームも応援しておりました。聞く

第41回 ☆☆☆☆☆

関東小学生剣道 錬成大会

日本武道館

ありません。そのような意味合いにおいては本当に良い経験になったと思います。中尾中のみなさんご苦労様でした。

毎年この大会からシーズンが始まる。東京都少年剣道研究会主催の関東小学生剣道錬成大会だ。わが須田道場も眠い目を擦りながらマイクロバスへと乗車した。引き連れた隊士は八名である。久々の日本武道館・いつ見ても大きいね。受付で渡された大会のしおりをみると出場選手数は二、八五六名にのぼる。同郷中島道場も参加しているようである。



須田道場のみなさん

す。「よく勉強して物事の道理をよくわきまえる文の道と、心身錬磨の武の道の二つを身につけること。一方にかたよらないようしっかりと励み合ひましょう。」これがスローガンである。開会式のあとに、かかり稽古そして互角稽古が行われ、子どもたちはぼつちり汗をながしました。これによって普段の稽古の心持ちに立ち返ることができ普段の力が試合に発揮できると思います。さて、試合の結果だが、ムクなかなかさなあ。でも岡田沙希が第十試合場で優良表彰を受けたのでこれはメモリアルだ。ほかのみんなもまた次回に期待したい。

(須田尚猛通信員)

ご存知か・・・ 黙行会
高崎支部の先達が剣道への想いを磨けて造りあげた黙行会・・・いまでも賑々とその想いは引き継がれています。この会のホームページにこの「たそがれ剣舞」を載せていただくことになりました。黙行会の内容と併せてぜひご覧になってください。



アドレス <http://www.rea.co.jp/mokugyou/>

- MOKUGYOUKAI
- 五月十五日 七段審査会 名古屋市
 - 五月十六日 県少年剣道錬成大会 ぐんま武道館
 - 五月二十三日 古閑杯・家庭婦人 ぐんま武道館
 - 六月 六日 青少年健全育成 浜川体育館
 - 六月十二日 スポ少西毛地区 藤岡市体育館
 - 六月二十日 小学生剣道錬成会 支部審判講習会 市武道館
 - 七月 四日 国体予選 ぐんま武道館
 - 七月十一日 七段・女子選手権 ぐんま武道館
 - 七月十八日 中体連夏季大会 寺尾中学校
 - 七月二十四日 全日本少年錬成大会 日本武道館
 - 七月二十五日 社会人剣道大会 高崎市中央体育館
 - 七月三〇日 県中学総体剣道大会 ぐんま武道館
- 編集後記
早くもシーズンに入って一月経過しました。総会も開催され平成十六年度の高崎支部の基本行動指針が確認されました。なんとと言ってもカッパビア大会にかわる大会の運営が大きな目標とあります。特定の方々だけの力ではなし得ません。支部全体の目標として皆さんのご協力をお願いしたい。またこのつれづれも一年度継続をしてきました。相変わらず代わり映えはありませんが、単純なものでも「継続は力なり」と考えております。引き続き支部の記録として作成してゆきますのでよろしくお願いたします
広報 上條